

配 管 工 事 特 記 仕 様 書

工 事 名 : 塩町排水路水道管等移設工事

工事場所 : 三次市塩町 地内

令和 5 年度

建設部 土木課

配 管 工 事 特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条 適用

(1) 本工事は、三次市が配水管布設を請負工事で施工するものである。配管工事の施工は、広島県土木工事共通仕様書並びに、日本水道協会発刊の水道工事標準仕様書（2010）及び本特記仕様書によるものとする。

以下、広島県土木工事共通仕様書……………土木一般仕様書とする。

日本水道協会・水道工事標準仕様書（2010）……………標準仕様書とする。

(2) 設計書、図面及びこの特記仕様書に記述された事項は、他の共通仕様書内容に優先する。

第 2 条 他請負工事との協議調整

第 3 条 工事中の損傷事故とその復旧

工事施工中には、周辺の物件等に損傷を及ぼさないよう留意するとともに、損傷を与えた場合には、速やかに監督員に報告する。復旧に要する費用の一切は請負人の負担とする。

第 2 章 配管工事

第 4 条 使用水压

設計水压は，水道標準規格に相当する $P = 0.75 \text{ Mpa}$ とする。

第 5 条 使用材料

(1) 本工事に使用する主な配管材料は，日本水道協会または J I S 規格品であること。現場搬入に際しては日本水道協会の，検査合格を証明できるものでなければならない。

(2) 上記規格にないものは，あらかじめ見本及び承認図を提出し，監督員の承認を得なければならない。また，資材の一部には当室の指定する製品が含まれている。

第 6 条 配管工事の工程

工事の施工は，管の床掘り，据え付け接合，埋戻し，路面仮復旧までの一連作業を，1 日の作業時間内で終える計画とすること。

第 7 条 掘削土の処分

別紙特記仕様書のとおりとする。

第 8 条 水圧試験

配管工事完了後，管の充水・洗管を行い，水圧試験を行う。この試験水圧並びに保持時間，試験結果の良否の判定要項は当課において指示する。